

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第179回

令和7年 1～3月期 実績

令和7年 4～6月期 予測

令和7年3月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約18,758企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内15商工会
祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業51 建設業42 小売業68 サービス業70
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和7年1月～3月期実績、及び令和7年4月～6月期見通し
5. 調査時点 令和7年3月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. 表記基準 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

- 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>

- 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

1.ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第179回中小企業景況調査(2025年1-3月期)のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、3期連続して低下

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」は、前期(2024年10-12月期)から3.4ポイント減(▲21.4)と3期連続低下。産業別では、サービス業で6.2ポイント減(▲18.4)、建設業で5.1ポイント減(▲14.8)、卸売業で2.5ポイント減(▲16.2)、小売業で2.0ポイント減(▲31.2)、製造業で0.6ポイント減(▲20.8)と低下。全産業の来期見通しは上昇し、産業別では、建設業を除く4産業で上昇の見通し。

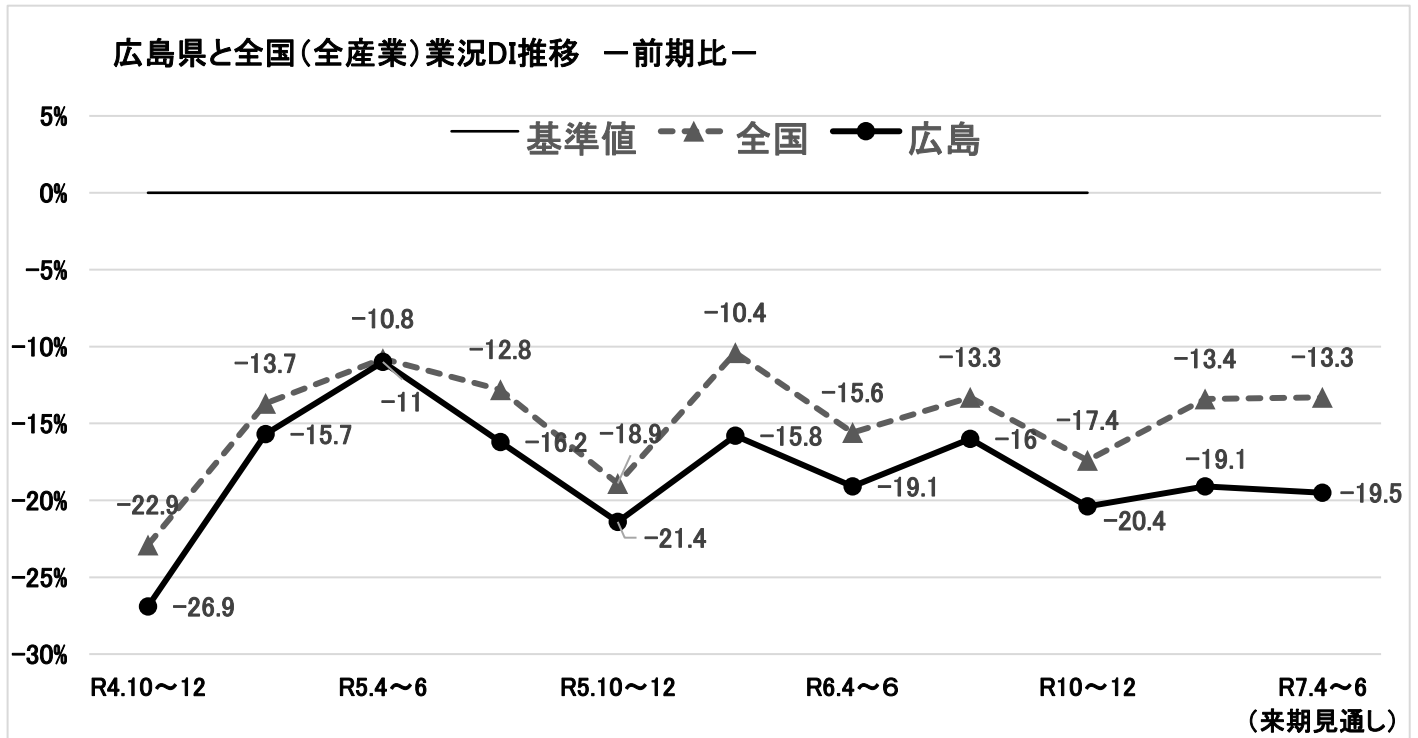
・原材料・商品仕入れ単価は、高水準が続く

「原材料・商品仕入れ単価はDI(前年同期比)」は、「売上単価・客単価DI(前年同期比)」に比べ高水準が続いており、いずれの産業も高ドン理が続いている。一方、「売上単価・客単価DI(前年同期比)」は、小売業は▲2.0(0.7ポイント増)と改善したものの、小売業のみが一圏にとどまっている。

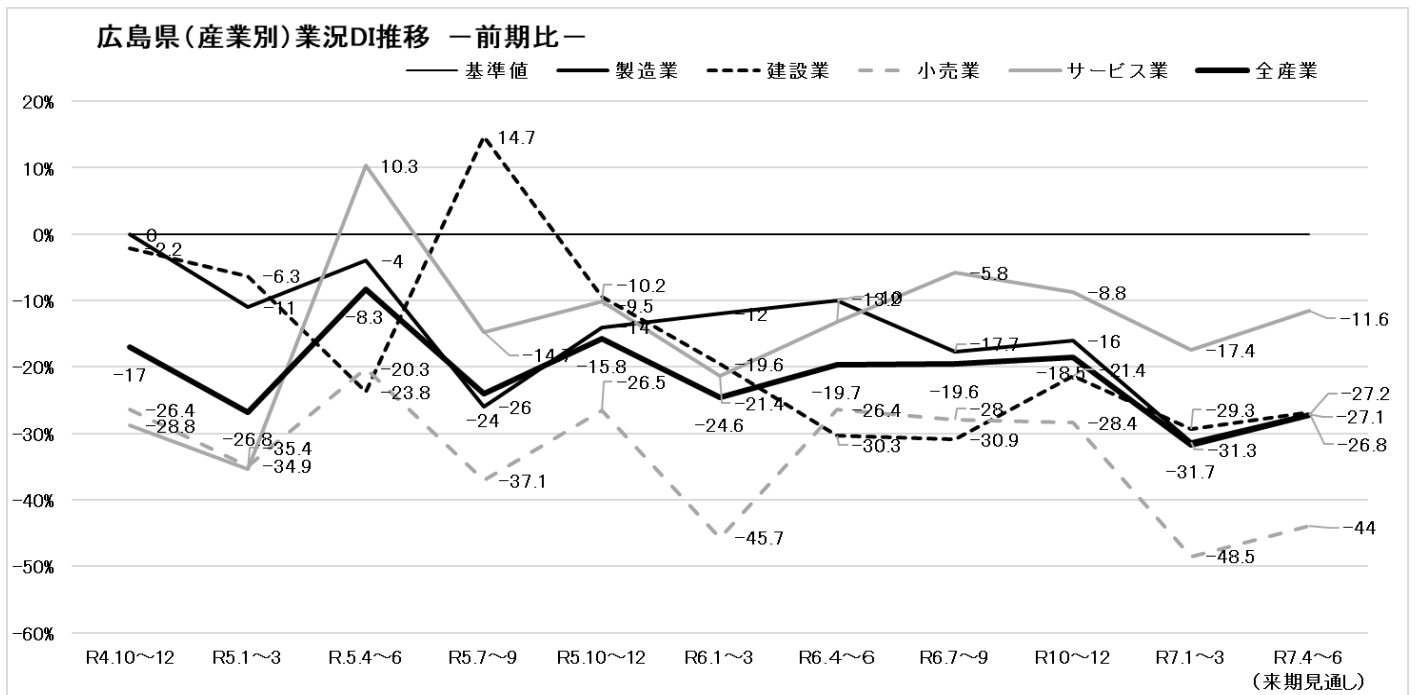
・製造業の一部業種で、来期への期待感が低下

製造業の業況判断DIにおける前年同期比と来期見通しの差(DIギャップ)は、今期と2024年1-3月期を比べると縮小している。特に、輸送用機械器具、化学及び窯業、土石製品において、来期見通しが前年同期比よりも下回っており、先行きの不透明感が表れている。

2.広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。



3.広島県(産業別) ※商工会地域のみ



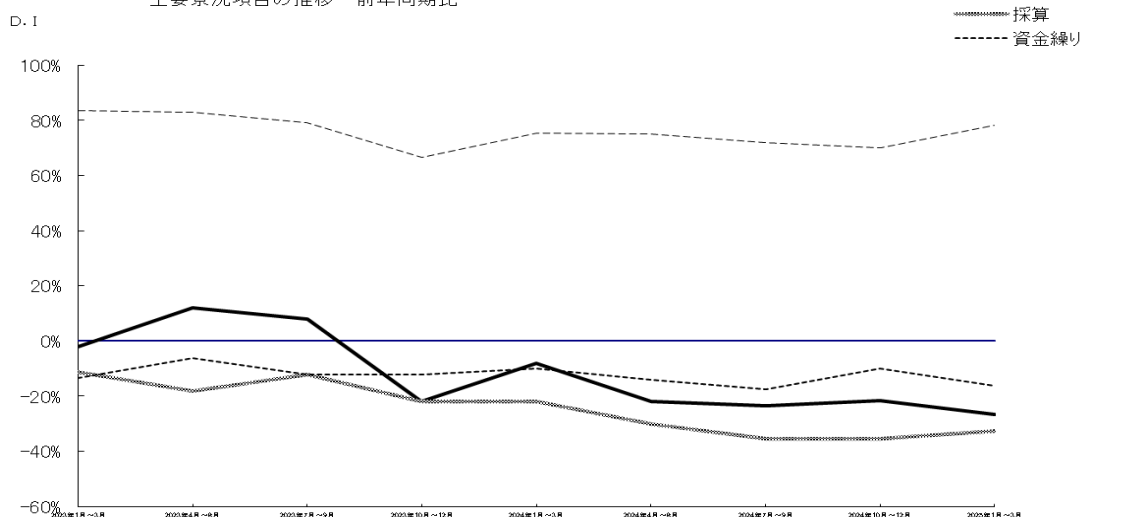
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI				
	(前期)	(今期)	(前期との比較)	(来期見通し)	
	R6.10～12	R7.1～3		R7.4～6	
売上額	-21.6	-26.5	↘	-18.4	↗
原材料仕入単価	70.0	78.3	↗	56.5	↘
採算	-35.3	-32.6	↗	-30.6	↗
資金繰り	-9.8	-16.4	↘	-12.3	↗

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

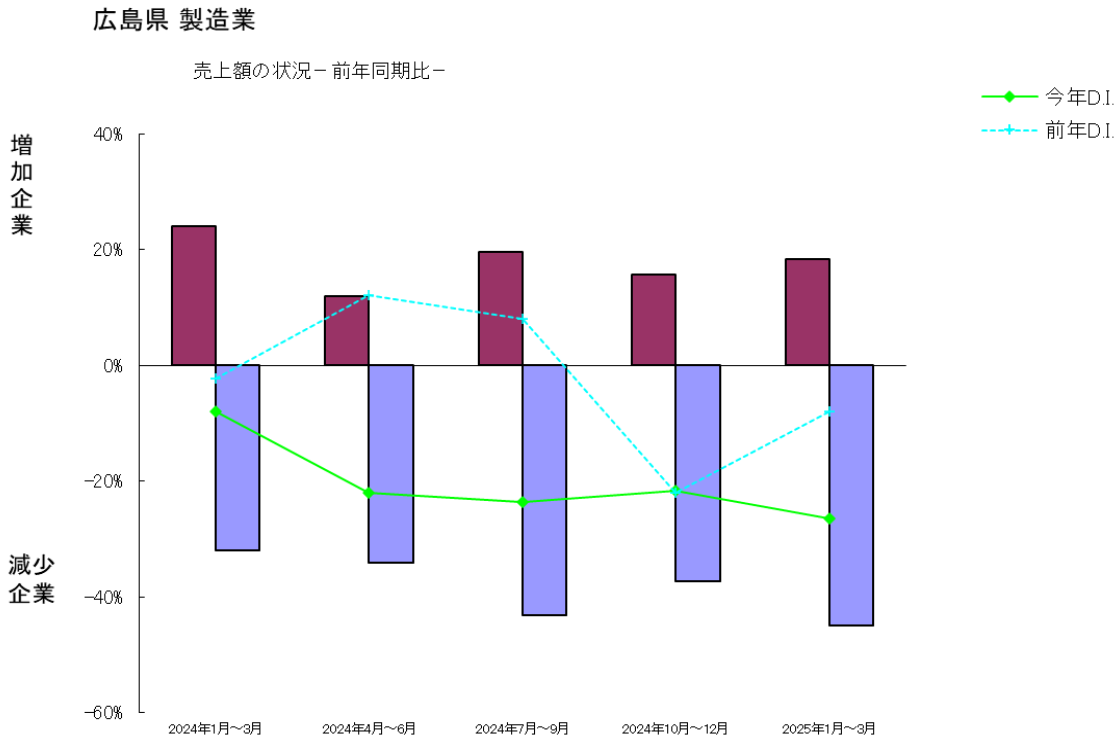


..... 企業のコメント

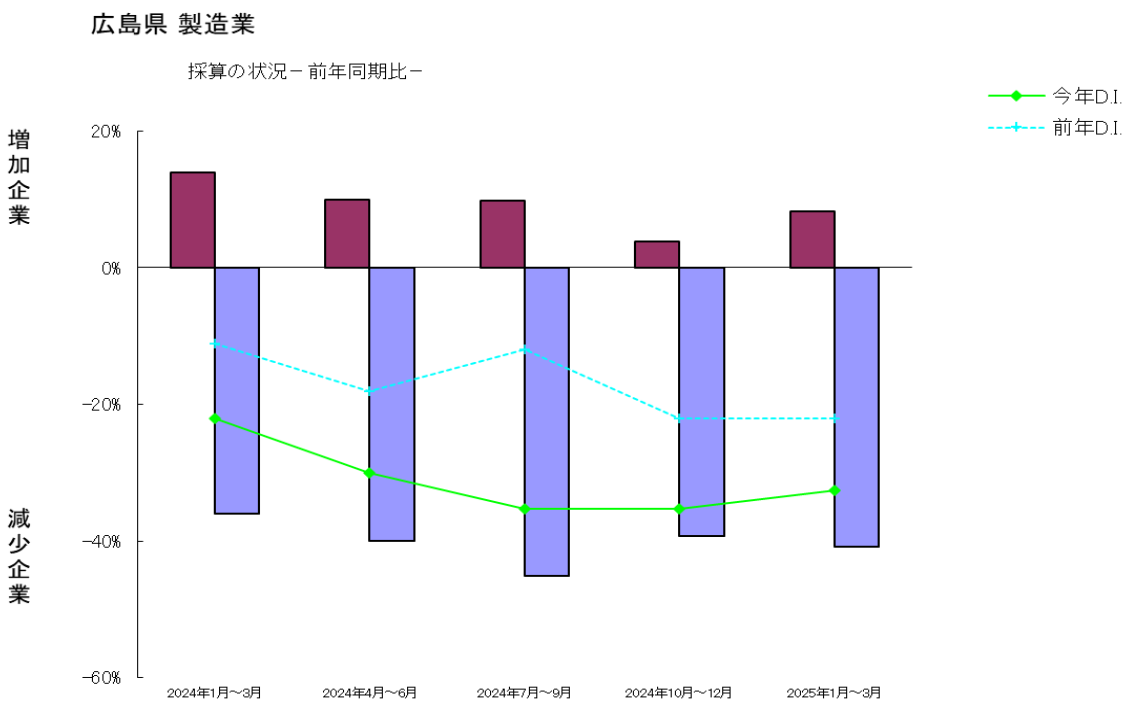
- ・ 人の確保と人件費の増加。
- ・ 同様の企業から人手不足により仕事の依頼があり売上に繋がっているが、自社でも社員の確保や求人のためにも賃金を上げないといけない。また、その他の賃上げも常に発生しているためその対策の値上交渉も常に行う。
- ・ 海水温上昇等を理由に牡蠣の変死が多く水揚げ量減少。浜値も高止まりを推移しており、適正な利益確保が難しい状況にある。牡蠣の消費量も減少傾向にあると思われ、売上高及び利益に大きく影響がある。
- ・ 受注増減に波がある中で、外注先の確保と管理が課題である
- ・ 従業員の人数が増加すれば生産プラス売上也増加するがその分人件費も増加する。そのバランスが今はあまり良くないと思う。
- ・ 今期は期末に向け売上が伸び、四月くらいまで決まってきた。おそらくメーカーの今期の計画が動き出したものと思われる。しかし継続的に開発が続くかは不透明であり今のところは様子見といったところである。
- ・ 生活自体が洋風化して和風建築に係る職種が不要になって職人が廃業している。職人のいない建築になってしまうのではないか。

製造業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-



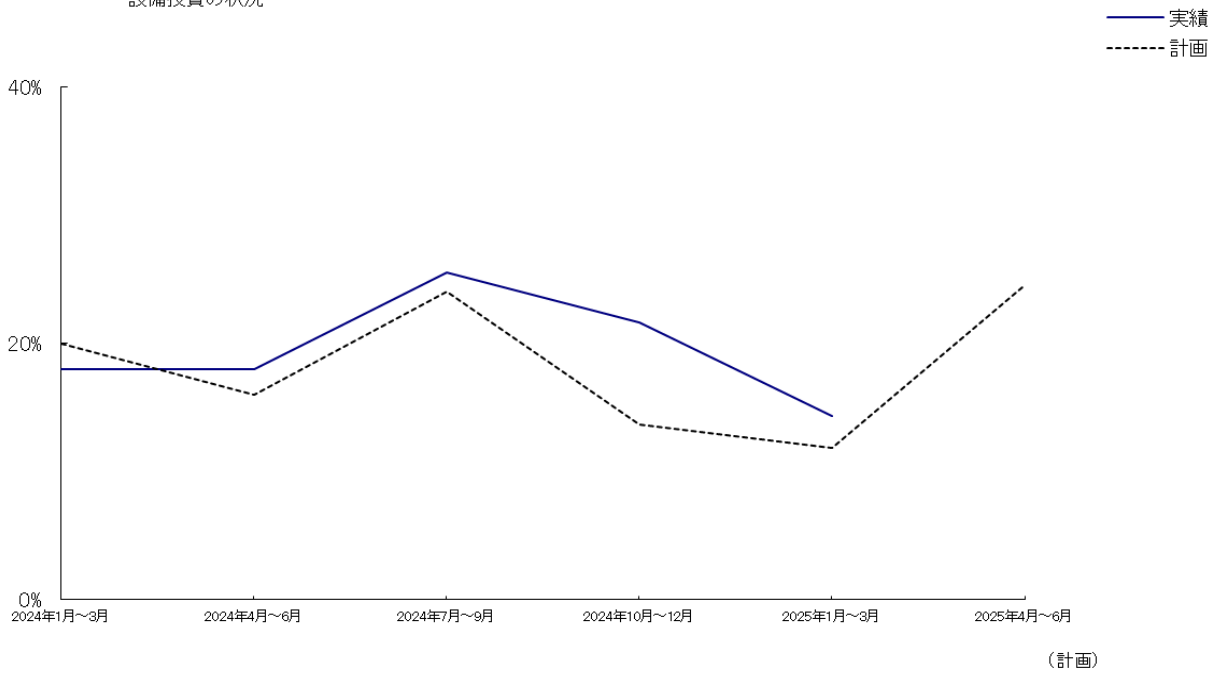
3.採算（経常利益） -前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 製造業

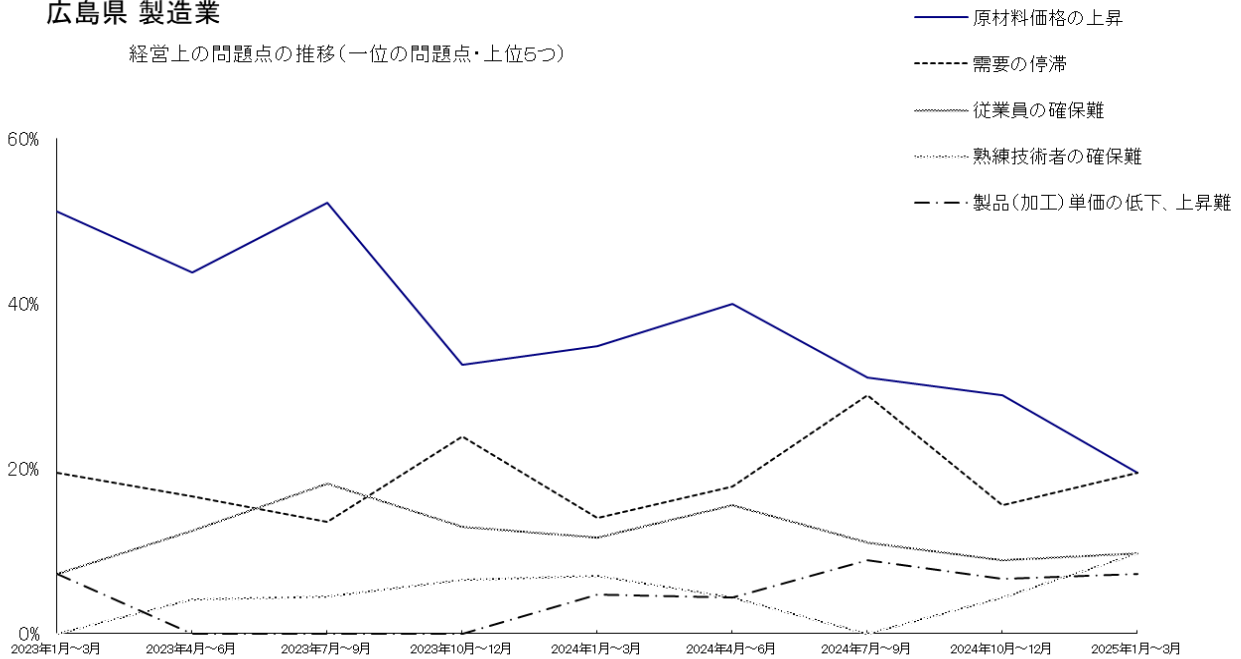
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業

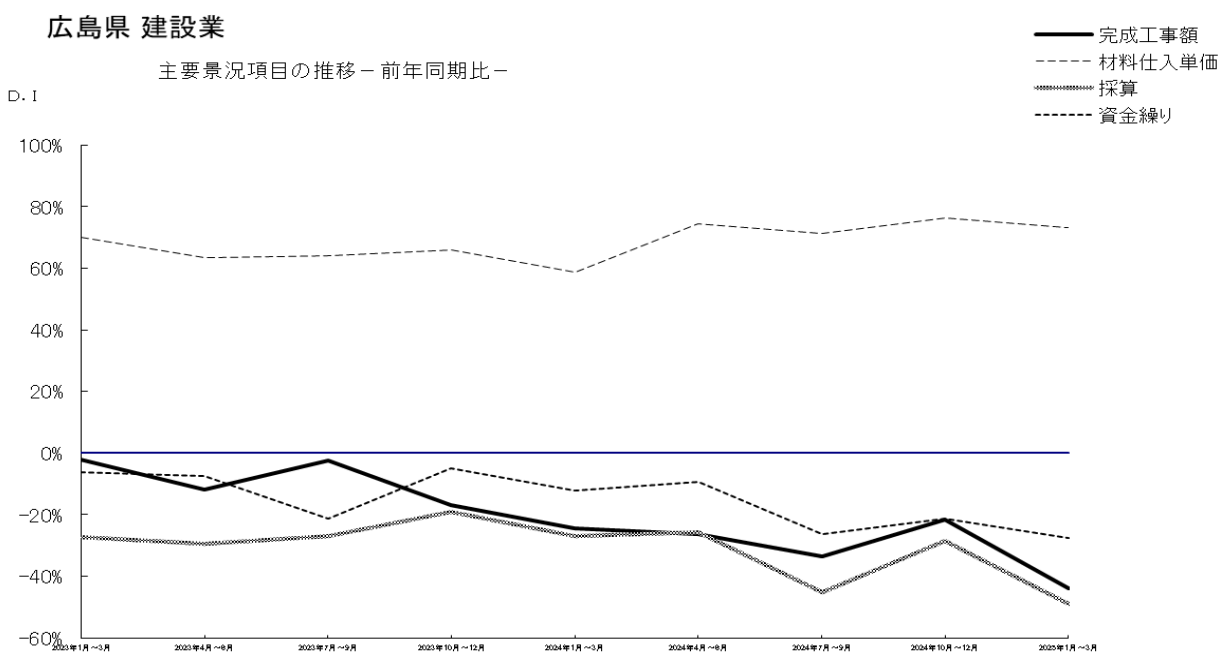
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



建設業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R6.10～12	R7.1～3	前期との比較	R7.4～6	今期との比較	
売上額 （完成工事額）	-21.5	-43.9	↘	-29.3	↗	
材料仕入単価	76.2	73.2	↘	53.7	↘	
採算	-28.5	-48.8	↘	-34.1	↗	
資金繰り	-21.4	-27.5	↘	-22.5	↗	



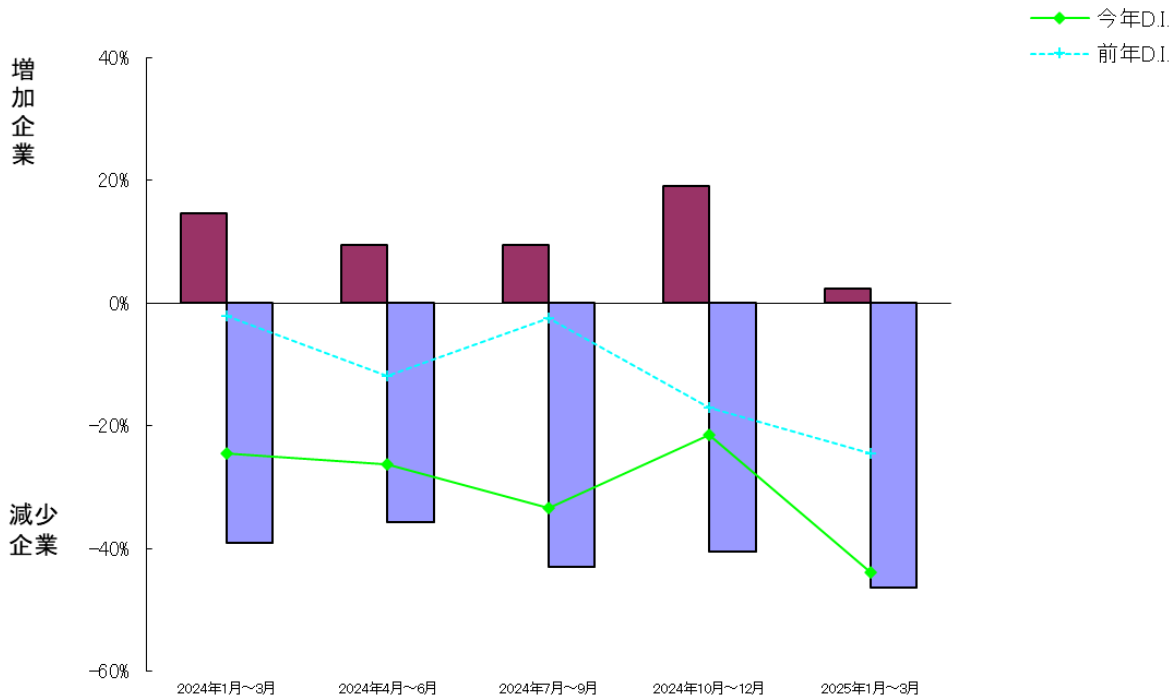
- 企業のコメント
- ・市場が冷めているので、廃業・転職を視野に入れながら片づける。
 - ・当社の事業内容は、主に水道配管設備等の設置や修理などですので、とくに景気などの影響に左右されることはなく、景況は開業当初よりあまり変動していないように思います。
 - ・材料費の高騰と共にガソリン代などの費用もかさんでおり、売上への価格転嫁ができていない。
 - ・円安の影響で物価の上昇がキツイ。
 - ・民間の需要の停滞、申込時期のかみ合わせなど、タイミングの調整などの問題が重なり、条件難航。物価上昇など、日常生活からの影響あり。
 - ・仕入も高値だけど安定してきている。
 - ・民間需要の少なさに不安ばかり、負担ばかり増えるので不要な工事を減らす人が多い。設備も人材も投資ができる状況ではない。

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

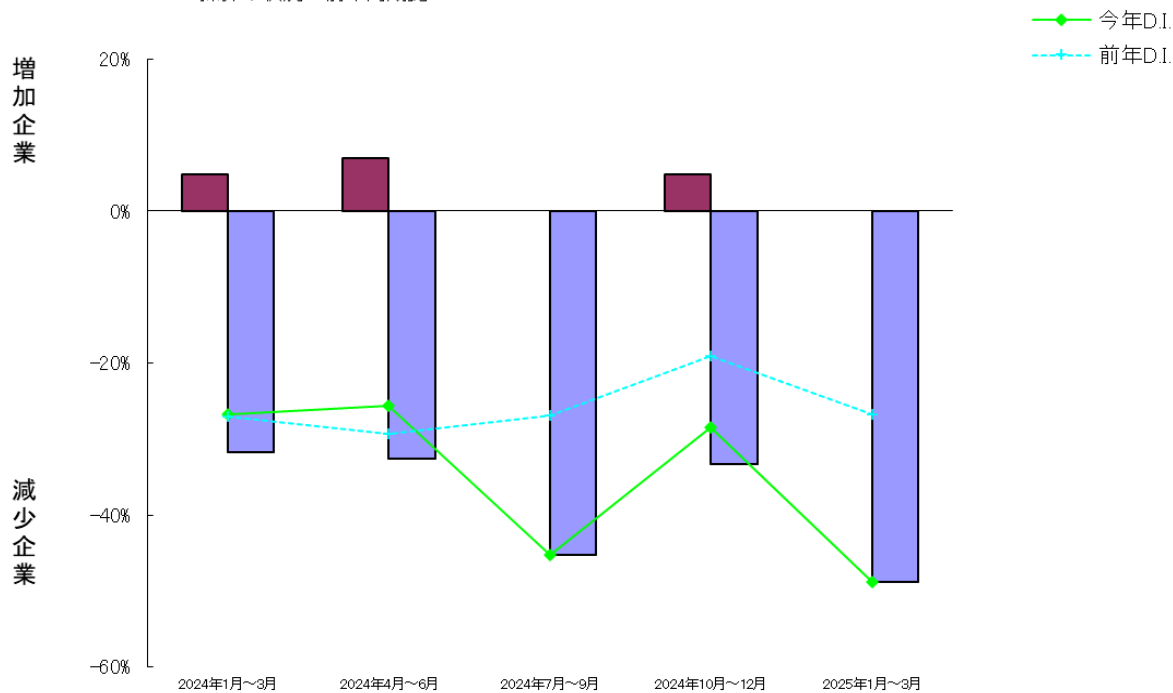
完成工事額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 建設業

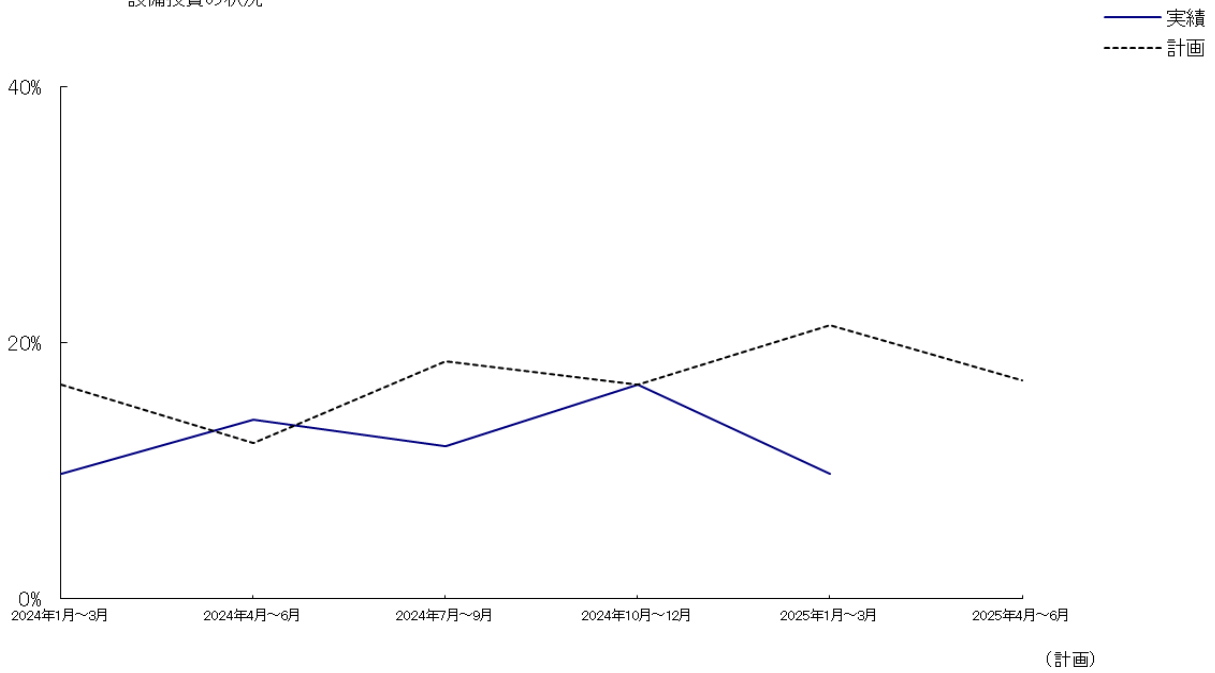
採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 建設業

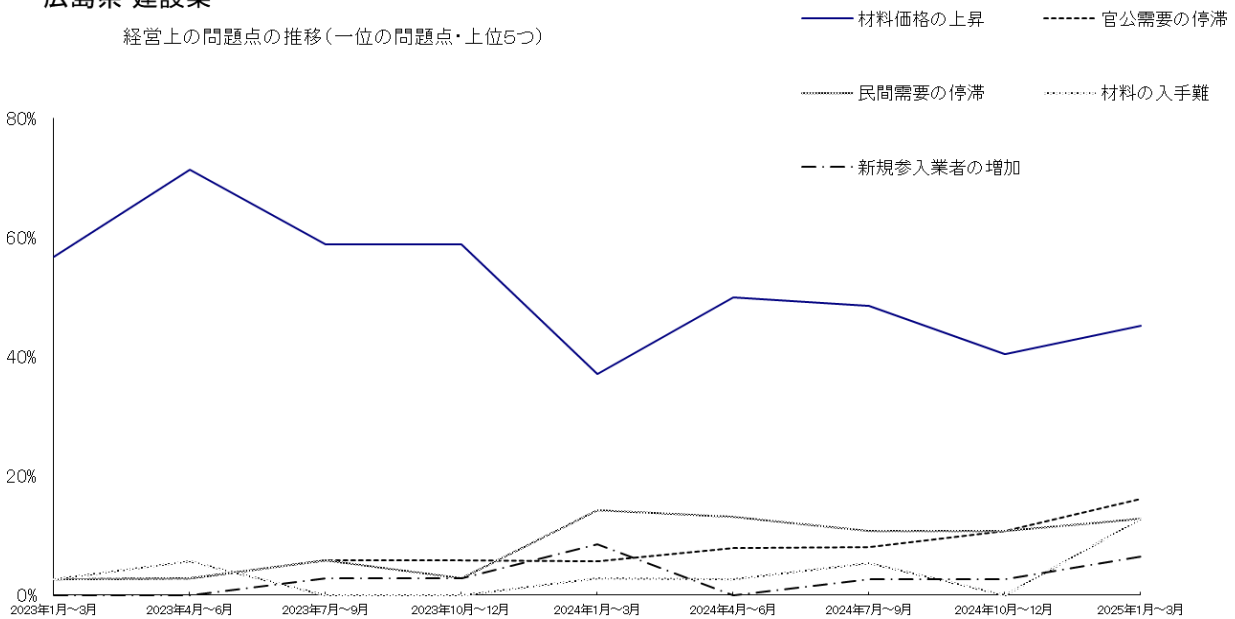
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業

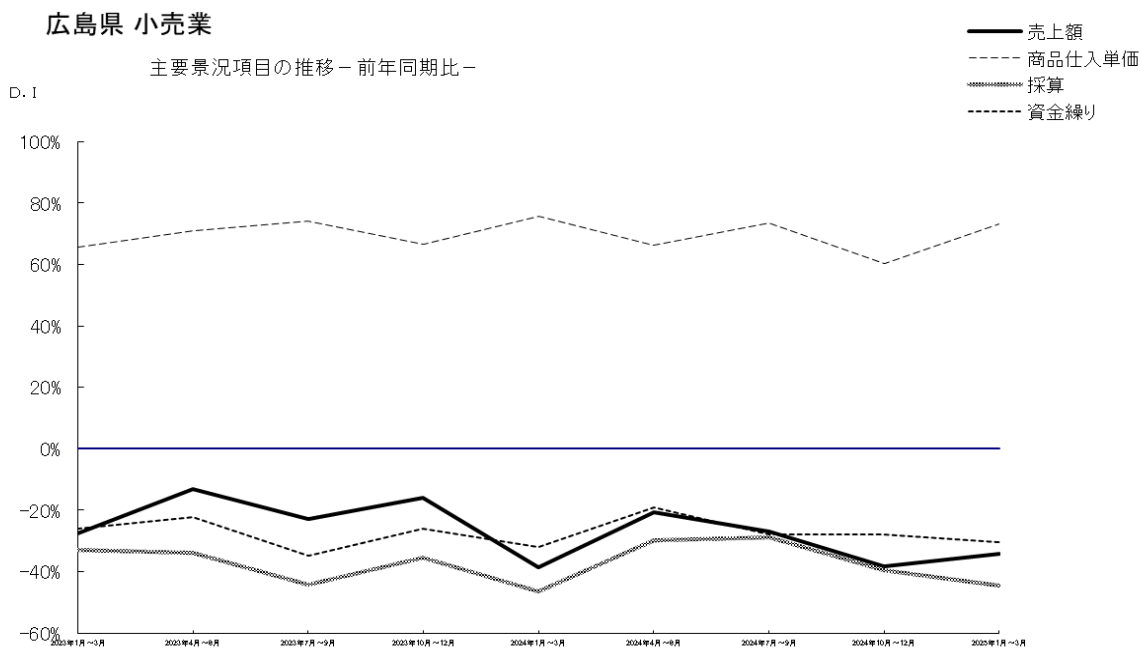
経営上の問題点の推移(1位の問題点・上位5つの推移)



小売業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R6.10～12	R7.1～3	前期との比較	R7.4～6	今期との比較	
売上額	-38.3	-34.3	↗	-32.9	→	
商品仕入単価	60.2	73.1	↗	65.6	↘	
採算	-39.4	-44.6	↘	-43.1	→	
資金繰り	-27.9	-30.3	↘	-31.8	→	



..... 企業のコメント

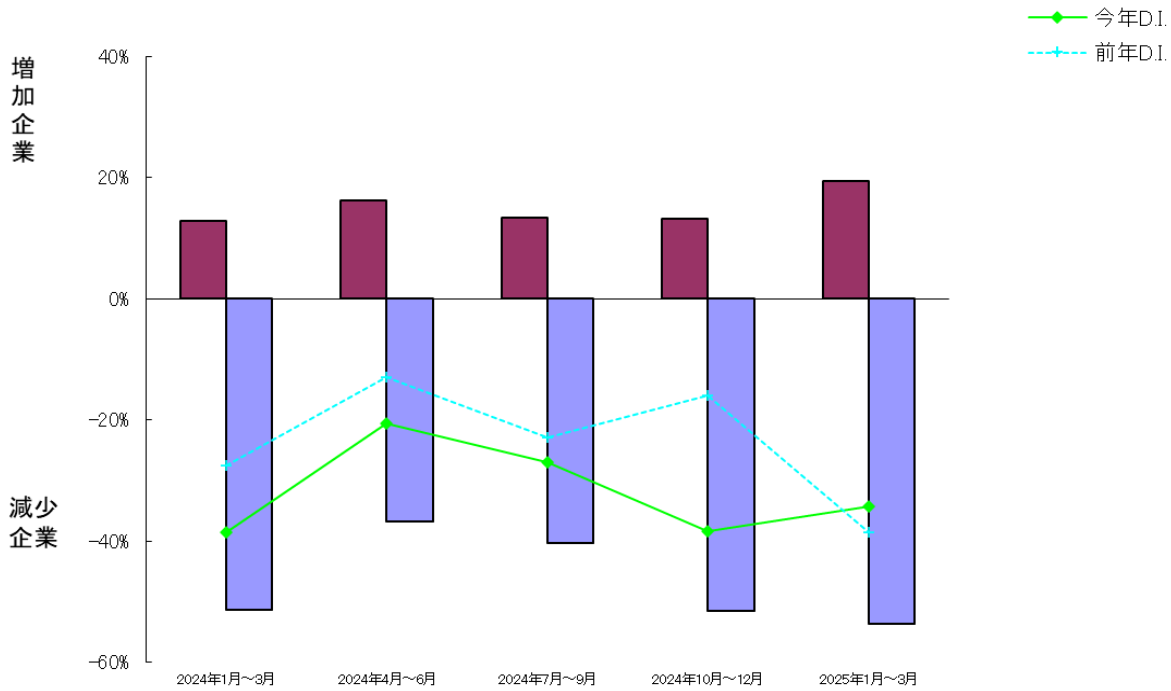
- ・ 為替相場による仕入単価の高止まりや、需要の停滞。同業事業間での競売もあり、厳しい状況にある。
- ・ 相次ぐ物価上昇で消費が停滞傾向にあり、売り上げ減につながっている。消費者が価格の安いスーパーや大型店へ流出しており苦戦している。
- ・ 最近物価の上がり方が激しすぎてお客様の購買意欲がどんどん落ちていっている感じある。客数がさらに落ちていっているのがその証拠だと思う。生活費が上昇する中アパレル業はどう対応すれば良いのか？
- ・ 今年、冬が寒いお陰で一部の商品の売り上げが増加したように思う。しかし、生活が多様化した昨今、暖冬だったら夏の赤字を冬で補えなくなる。厳しい。
- ・ 仕入原価の値上がりと経費の上昇分を価格に適切に値入れできてない。新しい従業員の確保を進めていきたい。その為の社内の整理整頓が必要である。
- ・ 現状は毎月その月の過去最高売上を更新している状態が続いている。この状況もずっと続くわけではないので、勢いが止まった時に向けて新たな取組や生産効率を上げるための設備投資を考えていこうと思う。
- ・ 今冬は寒い日も多く、人の出足が悪い。物価高の影響もあり、財布のひもは固い。売れるのは肌着とかの実用ものが多い。

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

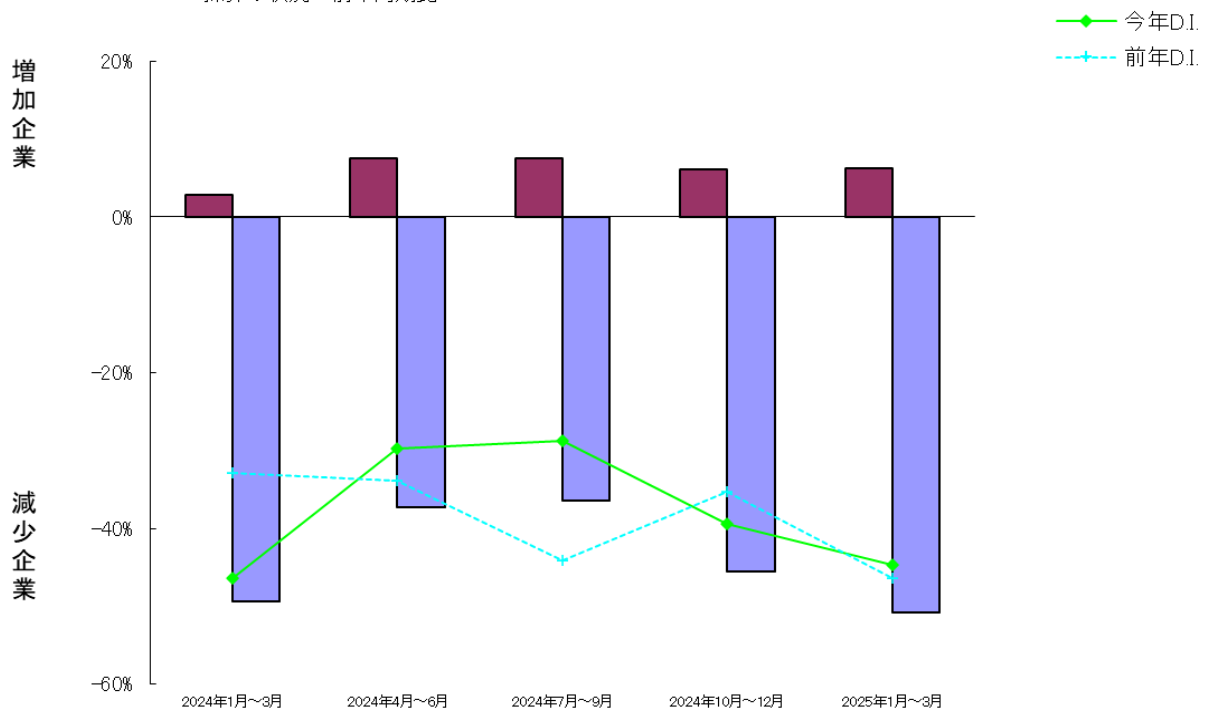
売上額の状況 -前年同期比-



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 小売業

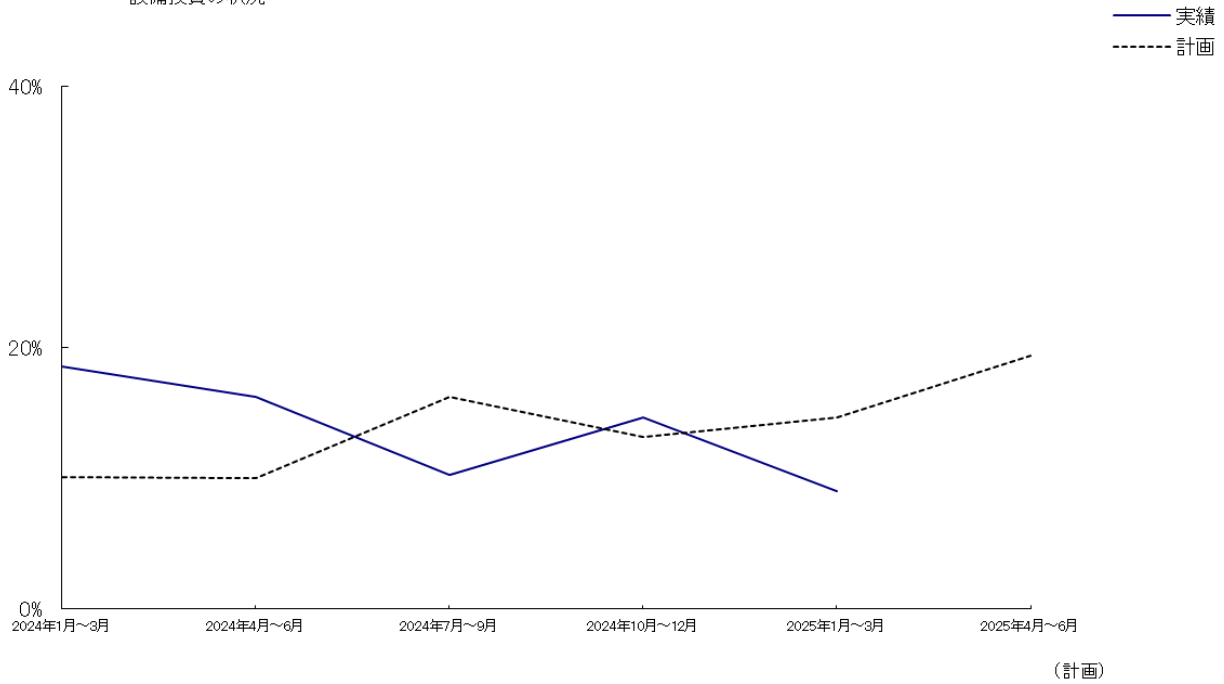
採算の状況 -前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 小売業

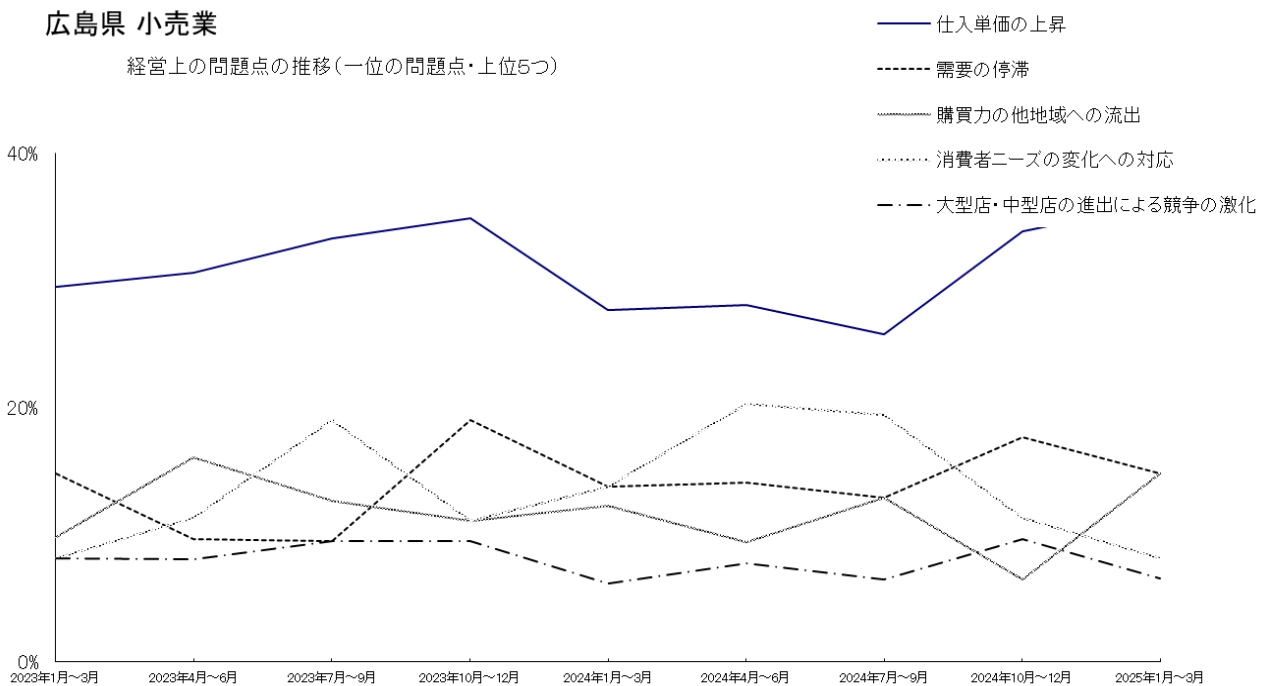
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

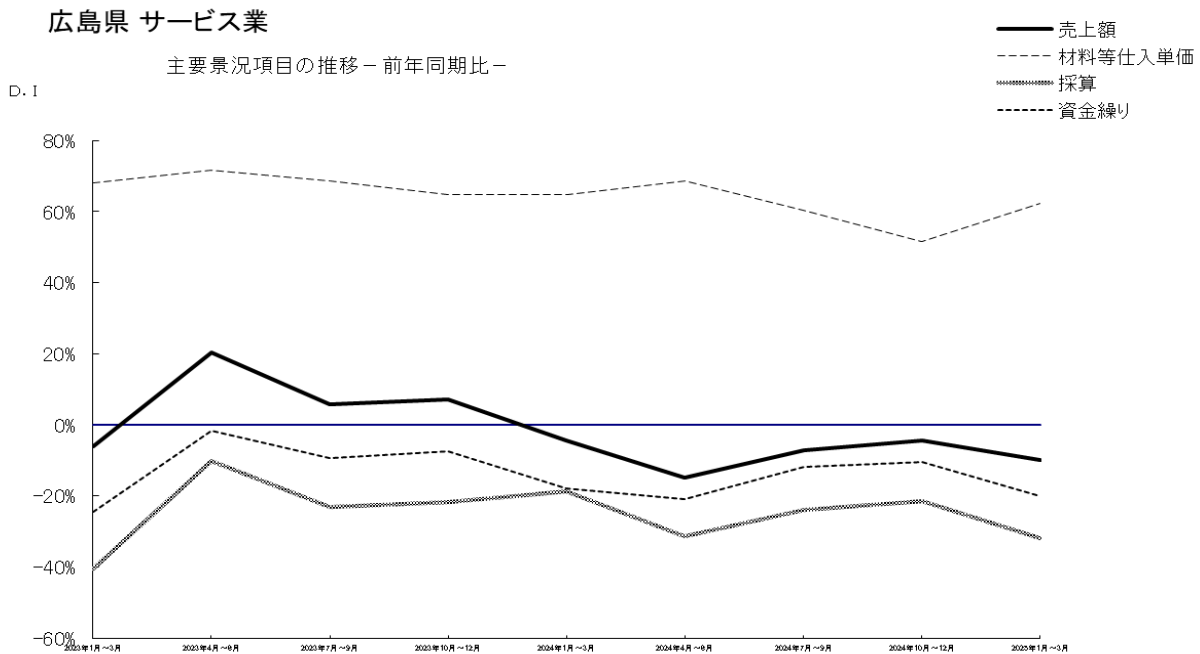
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R6.10～12	R7.1～3	前期との比較	R7.4～6	今期との比較	
売上額	-4.3	-10.0	↘	-4.3	↗	
材料等仕入単価	51.5	62.4	↗	55.1	↘	
採算	-21.4	-31.9	↘	-23.2	↗	
資金繰り	-10.3	-20.0	↘	-27.1	↘	



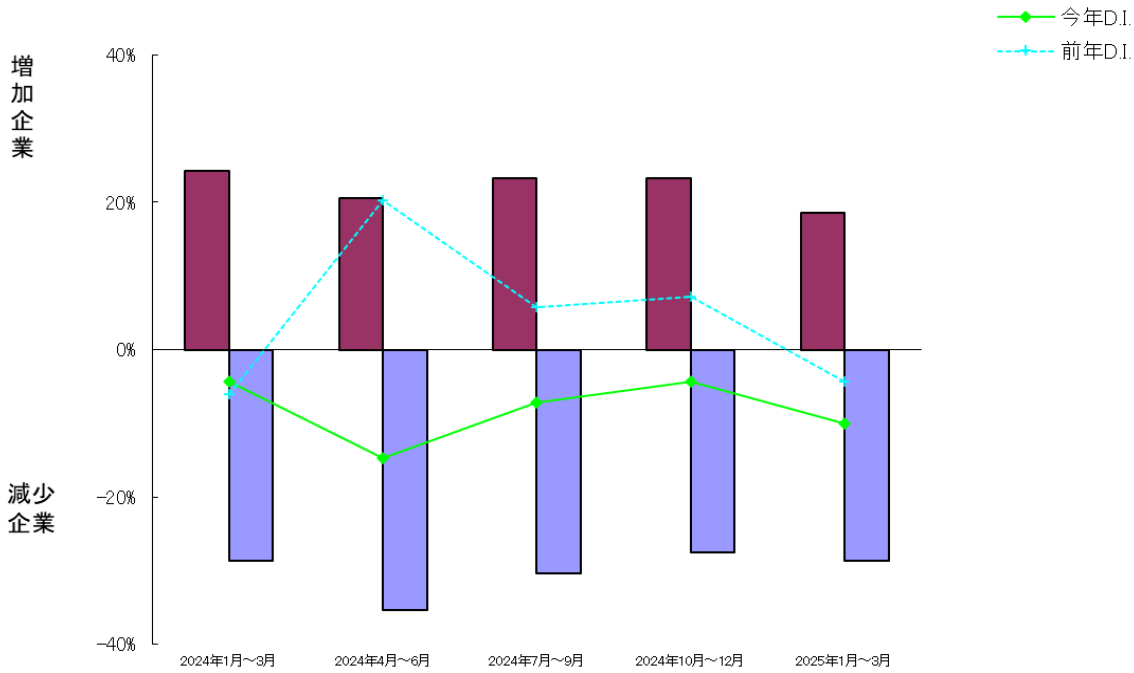
- 企業のコメント
- ・ 人手不足を補うために昨年多目の人員採用を行った。それによる人件費の増大で収支が悪化。物価高騰により色々なものが高くなるのも業況の見通し悪化の要因。金利も上昇して先行きの悪さがある。
 - ・ 利用料金の上昇を利用者へ説明して納得させるのが困難である。経費として、実績を宣伝することは難しく、道具やガソリン、名刺に書ける資格を取る為の講習会費・年会費の経費上昇。休業した場合の売上減少が悩ましい
 - ・ お客様の給料が上がっていないので、売れる商品も安い物に集中している。
 - ・ 送迎などの必要がある客数の増加、ガソリンの高騰などから値上げも視野に入れる必要があると感じる。利用者の方からも値上げも仕方無いとの声もよく聞かれるようになった。技術にかかる時間との兼ね合いを見て検討。
 - ・ 今年に入り、雪の影響によりお客様のご来店が難しく、売上金額が非常に悪い。ガソリンの値上げ等もお客様のご来店に悪影響を及ぼしているように思われる。お店の方も灯油ガス等の値上げで苦しい。
 - ・ 近隣に飲食店がオープンした影響で昼の売上が減少しました。従業員が2人やめて人手不足感が強い。仕入れ単価上昇が止まらない。メニューの値上げを考えないといけない時期が来ている
 - ・ ベテラン船員の不足と共に、給料も上がってきており、各社内で値上げ競争のようになってきている。人件費だけでなく、光熱費や修繕費、購入品でも上がってきているので、業況は良くない。

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

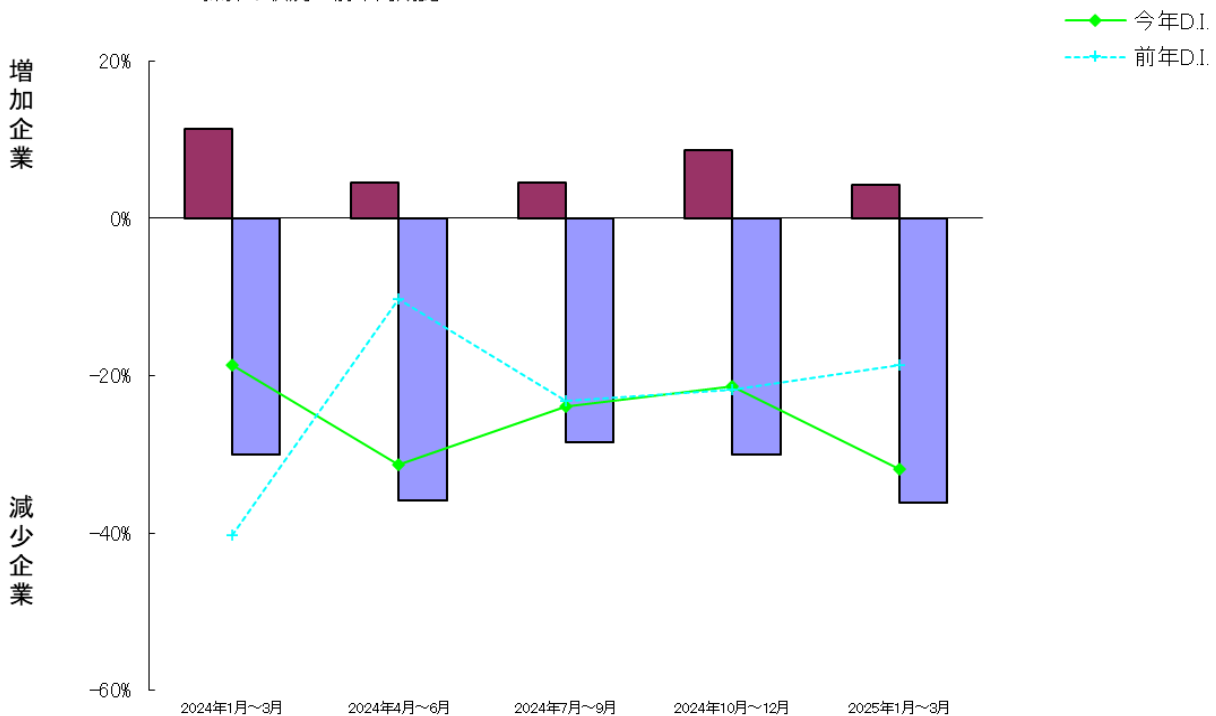
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

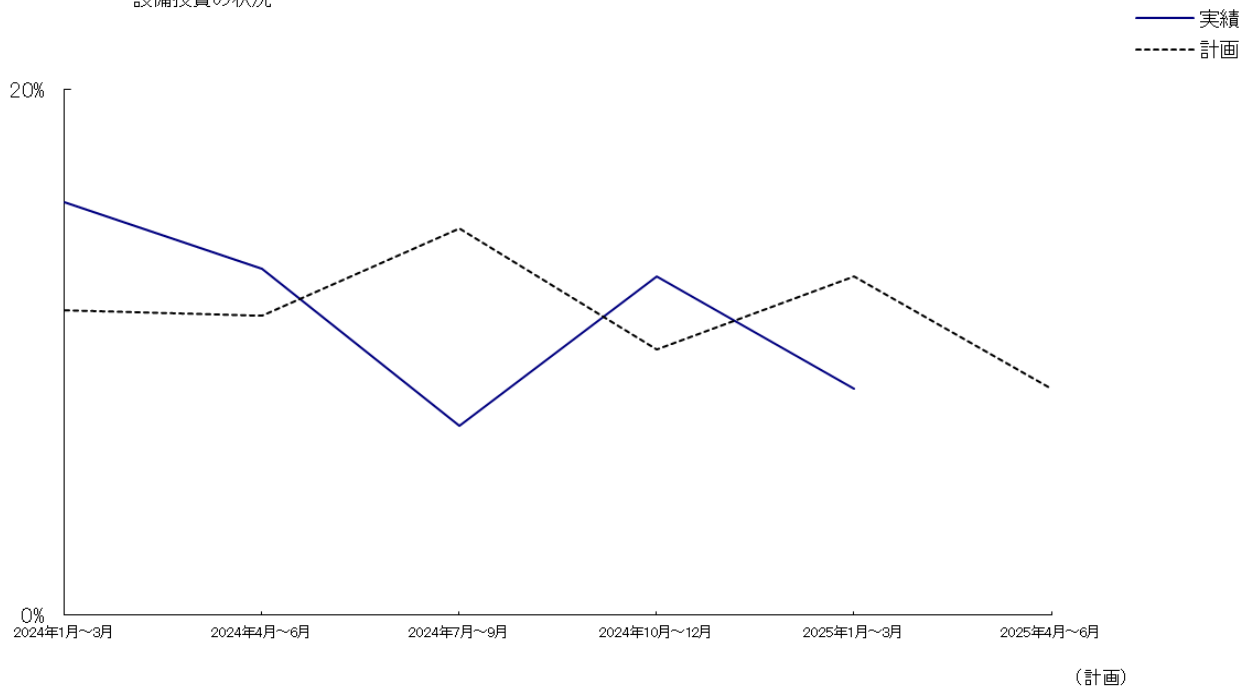
広島県 サービス業

採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つの推移）

